

なとりのすいどう

〒981-1292 宮城県名取市増田字柳田80 名取市水道事業所水道総務係 電話 022-724-7136
名取市ホームページ <https://www.city.natori.miyagi.jp> 水道事業所Twitter @natori_suidou

令和4年11月号

南部山浄水場（県水）から名取市までの送水管経路の変更事業現場説明会に参加しました

名取市の水道水は、大きく分けて七ヶ宿、樽水、釜房の3つのダムを水源として、バランスよく受水しています。災害時に1か所が被災しても他の水系に切り替えられるなど、水道水の確保という危機管理の観点やコスト面など総合的な判断から現状の体制になっています。現在、仙南・仙塩広域水道用水供給事業は、七ヶ宿ダムを水源として、仙南及び仙塩地域の17市町に対して、一日最大553,300m³の水道水を供給しています。下図にあるとおり、南部山浄水場からは、高区系（仙塩方面）と低区系（仙南方面）の2系統で送水していますが、それぞれ一方向にしか送水できないため、大規模な漏水事故等が発生した場合、断水期間が長期化する恐れがあります。そこで、平成26年度末から東側の低区系（仙南方面）の水道用水の安定供給を目的として、西側の高区系（仙塩方面）から低区系の送水管をつなぐ高区・低区連絡管整備事業を実施しており、今回は、その連絡管整備事業現場説明会に参加しました。この事業によって低区（東側）に位置する名取市は、送水管経路が変更となります。この村田町から岩沼市をつなぐ送水連絡管は、令和5年1月から本運用開始予定となっています。



「DXの取組事例について」テーマ発表を行いました

令和4年11月10日（木）～11日（金）に「日本水道協会東北地方支部令和4年度事務・技術講習会」が開催されました。2日目は、「DXの取組事例について」東北地方各6支部のテーマ発表があり、宮城県支部の代表として名取市が「スマート水道メーターの導入に向けて」について発表しました。

この事務・技術講習会は、東北地方支部の正会員の若手・中堅職員を対象に、水道事業の実務における課題や先進的な取組み等に関する講演を実施しているもので、名取市からは3名が受講いたしました。

名取市は、宮城県内でもスマート水道メーターの実証実験をいち早く行っている自治体として、お客様サービスの向上や業務効率化を目的としたスマート水道メーター導入の検討を進めてきた導入経緯や実証実験の結果などを発表しました。



水道豆知識 「スマート水道メーターって何？」



電子式および電磁式の水道メーターに無線通信端末を接続して、無線通信により水道使用量を自動検針するものです。自動検針による検針業務の効率化や経費削減、漏水探知機能による漏水の早期発見などのメリットが期待されます。